

# 序

筆者は、昭和50年に日本国有鉄道中央鉄道病院（現：JR東京総合病院）へ就職してから約30年間、日本における義肢・装具に関する最先端で義肢・装具学および臨床技術の発展に努めてきた。その後の約10年間は、PT（理学療法士）養成校の教員として学生に対して義肢学を教授していると同時に、臨床実習施設を中心に、PT・OT（作業療法士）に対して切断者の義肢・装具装着トレーニングの指導を行っている。それらの経験から、義肢装具士の国家資格が誕生して以来、PT・OTと学生の義肢・装具に対する興味が著しく低下し、義肢・装具装着トレーニングを実施する技術も顕著に低下している現状を実感し、憂慮している。一方、養成校の急増により「義肢・装具学」に精通し質の高い内容を教授できる教師の数が不足してきている。また現在、出版されている「義肢・装具学」の教科書は、イメージがつかみにくく臨床現場を想像しにくいうえに、本を読まない近年の学生が理解するには難しい内容のものが多く、

そこで、PT・OTをめざす多くの学生に対する教育の質を担保し、義肢・装具に興味をもたせることができる授業を行えるような教科書を企画することとなった。本書の特徴は、

- ①豊富な写真とイラストで目で見てわかる
- ②羊土社HP上のストリーミング動画でイメージをつかめる
- ③箇条書きの簡潔な文章で理解しやすい
- ④臨床実習で役に立つ
- ⑤各項末の練習問題で国家試験対策ができる

などが意図されていることである。また各項は、

- ①義肢・装具の名称がわかる、
- ②義肢・装具の機能と特徴がわかる、
- ③義肢・装具の適応がわかる、
- ④義肢・装具のチェックアウトができる、
- ⑤義肢の評価・プログラムの設定ができる、
- ⑥義肢のアライメント調整ができる

などの到達目標をもって編集されている。加えて、「学習のポイント」を各項のはじめに記載し、理解を深めやすいように構成していることも特徴の1つである。そのため、「義肢・装具学」を専門としている教師でなくとも学生に興味をもたせることができ、質の高い授業を行うために利用できる教科書となっている。

本書のストリーミング動画では、義肢・装具装着者でよくみられる異常歩行とその対応を見ることが出来る。臨床現場で働いているPT・OTが適合やアライメント調整を含む義肢・装具装着トレーニングを施行する臨床スキルを向上させるためにも有効な本である。ぜひ、現役のPT・OTの方々にもご活用いただきたい。

2016年7月

高田治実